

またる

うたかた しる みずまり おも
泡沫の記し/水鞠の憶い

清水 菜月

SHIMIZU Natsuki

名古屋芸術大学 芸術学部

2021年度 卒業制作



CONTENTS

特集 議会で行き組む「災害に強いまちづくり」…………… P.2

第2回定例会の結果 ……………P.4

代表質問 ……………P.7

傍聴案内、表紙紹介 ……………P.17

Pickup案件……………P.5

一般質問 ……………P.13

第3回定例会の予定、編集後記 ……………P.18

特集

議会で取り組む

「災害に強いまちづくり」

2000年9月に東海地方を襲った東海豪雨は、この地方にも甚大な被害をもたらしました。

被災後の県による激特事業として河川改修の一層の促進により、治水安全度は大幅に向上しましたが、近年の気候変動の影響で浸水被害などの自然の脅威が増しています。

今回は、市民の安全・安心な暮らしを守るため、災害に強いまちづくりを目指す議会の取組を紹介します。

当時は道路が冠水し、避難所にも水が迫る中、何日も家に帰らず作業しました。(当時の職員談)

東海豪雨被害の様子
(2000年9月11日～12日)



県へ治水対策の要望を行っています

議会は、こうした状況を踏まえ、災害に強いまちづくりの要である河川改修等について、市と共に県への要望を行っています。

具体的には、水場川、鴨田川、中江川・新中江川、五条川、新川の河川改修の推進や大山川・合瀬川の中堤整備の推進を要望しています。

県への要望の様子



※その他にも、都市基盤整備の骨格となる道路・街路整備や交差点改良、快適な生活環境を支える新川流域下水道の整備促進等も要望しています。

建設事業要望書



令和3年11月4日
名古屋市
北名古屋市議会

建設常任委員会が所管事務調査を行いました。



現地視察の様子

鴨田川排水機場自動起動化

洪水時に鴨田川から下流河川の新川にポンプで強制排水するための施設である鴨田川排水機場ですが、近年の集中豪雨の激甚化・頻発化により河川の水位が急上昇することがあるため、職員の配備に時間的余裕がないことを危惧していました。

県への要望が実を結び、県下でも先駆的な事例として、令和4年5月30日から鴨田川排水機場の自動起動化が開始されました。これにより河川の水位の急上昇に対応できるようになり、市内の水害リスクの低減が図られます。

議会では、建設常任委員会の委員が現地を視察し、所管事務調査を行いました。

Q：排水機場ってなあに？

A：上流河川の水を下流河川へ強制的に送り出す施設です。



災害時、市職員は情報収集や応急対策業務に奔走し、多忙な状況も予測されることから、議会は災害情報の共有を主な目的とする協力・連携体制を整え、災害対応に当たります。

その際、各議員がタブレットを使って市内各地の現状を迅速に情報共有します。

今後も議会では、市民の皆様の声を聴き、県事業については要望を行うなど、災害に強いまちづくりに取り組みます。

令和4年 第2回定例会の結果

会期29日間 5月30日～6月27日

今回の議案

補正予算 3件

条例の改正 5件

条例の制定 3件

人事案件 3件

条例の改正(議員提案) 1件

議案番号	議案名	議決結果
議案第47号	北名古屋市職員の給与に関する条例の一部改正について	賛成多数 原案可決
議案第48号	北名古屋市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第49号	北名古屋市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	
議案第50号	北名古屋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	賛成多数 原案可決
議案第51号	北名古屋市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の制定について	↑ 全員賛成 原案可決 ↓
議案第52号	令和4年度北名古屋市一般会計補正予算(第1号)について	
議案第53号	令和4年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	
議案第54号	北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について	
議案第55号	新川東部浄化センターサッカー広場の設置及び管理に関する条例の制定について	
議案第56号	北名古屋市親水運動広場の設置及び管理に関する条例の制定について	↑ 全員賛成 原案同意 ↓
議案第57号	北名古屋市公平委員会委員の選任について	
議案第58号	北名古屋市公平委員会委員の選任について	
議案第59号	北名古屋市公平委員会委員の選任について	↓ 全員賛成 原案可決
議案第60号	北名古屋市議会の議員の期末手当の特例に関する条例の一部改正について	
議案第61号	令和4年度北名古屋市一般会計補正予算(第2号)について	

今号では、
色の付いている議案を
ピックアップし
具体的にどう変わるのかを
(P.5～P.7)に掲載しております。



全ての議案内容は、
北名古屋市議会ホームページの
「議案・請願とその審議結果」
をご覧ください。

Pickup

議案第52号 令和4年度北名古屋市一般会計補正予算（第1号）について

一般会計の補正予算が審議されました

可決

令和4年度当初予算は、令和4年4月の市長・市議会議員選挙を踏まえ、骨格的な予算となっておりましたが、政策的判断を要する事業等の肉付け的な予算として補正予算が編成されました。

ここでは第2回定例会で審議された令和4年度一般会計補正予算（第1号）の主な事業を紹介します。

特殊詐欺防止用 電話機器購入費補助事業 50万円

特殊詐欺等による高齢者への被害を未然に防止し、安全で安心なまちづくりを推進するため、特殊詐欺防止用電話機器の購入費の一部を補助する。

がん患者 アピランスケア支援事業 70万円

がん治療に伴う脱毛や乳房の形状変化による身体的・精神的な負担や社会生活上の不安を和らげるため、医療用ウィッグや乳房補正具を必要とする者に購入費の一部を補助する。

田んぼダム基礎調査 300万円

気候変動などの影響により水災害が頻発化・激甚化する中、浸水被害を軽減するため、田んぼに雨水貯留機能を加えた「田んぼダム」の導入の可能性について調査する。



こんな
質問が
出ました

Q 田んぼダム導入の基礎調査の内容は。

A どのように活用するのが有効で、どの地域で効果が出るのかを調査する。

Q マイナンバーカード申請サポート事業による交付率上昇の目標は。

A 西春駅ふれあい交番における1週間の申請サポートや企業への出張申請サポートで、カード交付率3パーセント上昇を目標とする。

Q 消防団員加入促進事業による加入率の数値目標は。

A 定員190名のところ、現在145名が在籍し、欠員が生じているため、毎年5名ずつの増員を目標とする。

Q 各自治会からの土木事業の要望について、実施の優先順位の考え方は。

A 過去5年間で約330件の要望のうち、施工したのは約70件。全て現地確認をし、危険度や通行量、構造物の劣化度等を総合的に判断して順に実施している。

Q ひまわり園及びひまわり西園の今後は。

A 両園の統合や親子療育の継続は、利用者と意見を交わして進める。

Pickup

議案第61号 令和4年度北名古屋市一般会計補正予算(第2号)について

補正予算により 新型コロナウイルス対策を進めます



新型コロナウイルスワクチンの追加接種(4回目)に必要な体制整備を行うとともに、住民税非課税世帯及び子育て世帯などへの臨時特別給付金の支給を行います。

こんな質問が 出ました

Q 新型コロナウイルスワクチンの副反応についてのこれまでの事例は。

A 副反応に対しての健康被害救済制度に関する申し立ては、令和3年度は2件。予防接種対策協議会で審議し、県を通して国に申請している。

Q 新型コロナウイルスワクチンの副反応についての相談体制は。

A まずは身近な保健センターに相談していただき、高度で専門的な相談については、県や国の相談窓口を案内する。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業

1億1,644万5千円(国費)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、物価高騰により様々な困難に直面した人々に対し、速やかに生活・暮らしの支援を行うため、現在行っている給付金事業の支給対象を拡大し、臨時特別給付金を支給する。

1世帯あたり10万円



子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

1億1万8千円(国費)



新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を行う。

児童1人あたり5万円

新型コロナウイルス予防接種事業

1億230万9千円(国費)

新型コロナウイルス感染症による重症化予防の観点から、重症化リスクが高いとされる60歳以上の方及び18歳以上で基礎疾患を有する方を対象に、ワクチンの4回目接種を実施する。



Pickup

議案第60号

北名古屋市の議員の期末手当の特例に関する条例の一部改正について

議員の期末手当を減額します



現下の厳しい市の財政状況及び新型コロナウイルス感染症による市民生活等への影響を踏まえ、議員の期末手当を昨年に引き続き10パーセント減額し、市民のための支援財源として有効に活用されることを期待するものです。



代表質問

質問会派5会派

代表質問とは

所属する会派を代表して、市政全般にわたって、執行機関（市長など）に質問することです。代表質問は、施政方針または所信表明の行われる定例会で行われます。

代表質問の内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から『議会録画中継』を選択してご覧ください。

← 代表質問は次ページから

市長所信及び施政方針について

市政クラブ 永津 正和

1 行財政改革について

①現在の財政状況を前提とした行財政改革の認識は。

②令和3年12月の予算決算常任委員会における財政問題への答弁に対する所見は。

2 「市民の命と生活を守る」について

新型コロナウイルス感染症への具体的な対策は。

3 子育て、教育の充実について

①英語教育の充実についての考えは。

②小中一貫校についての考えは。

③ジャンボプールの今後についての考えは。

4 安全・安心な環境づくりについて

①豪雨、洪水に備え、雨水貯留施設の整備と河川、水路の整備についての現状と今後の対策は。

②老朽化したインフラ対策は。

③火葬場に対する考えは。

5 頼れる福祉について

①障がい者が活躍できる支援への考えは。

2 「市民の命と生活を守る」について

ワクチン接種を迅速かつ確実に引き、新しい情報を市民に分かりやすく提供する。国からの交付金を有効活用し、市民生活の下支えや市内経済の活性化につながる市独自の施策を行う。

3 子育て、教育の充実について

①実際のコミュニケーションを目的とした英語教育を進める。

②学校現場やPTAの意見を聞きながら考える。

③温水プールの利用実態も把握しながら、今後のあり方を見極める。

4 安全・安心な環境づくりについて

①さらなる治水安全度向上のため、田んぼダム導入可能性を検討し、県への河川整備の推進も強く要望する。

②老朽化したインフラは定期的な調査・点検を行い、現状のインフラを有効活用して安全管理に努める。

③近隣市町との広域連携についても可能性を探り、検討に努める。

5 頼れる福祉について

①多様化したニーズに対応すべく相談支援体制の充実を図る。

②高齢者を重層的に支援する環境を整備していく。

整備していく。

③生活習慣病の改善や重症化を防ぐため、実効性のある体制を作る。

6 まちの活性化について

①西春駅周辺歩行者天国の実現に向けて、地元商工会等とも十分対話を重ねていく。

②起業したい方に空家を貸出できる仕組みを作り、西図書館跡に設置を計画している(仮称)多機能型市民活動センターを中心にまちづくり活動を包括的に支援することを目指す。

③市制20周年の制定をめざす。

④市政の現状を伝え、市民の考えや地域の課題を直接聞く。

⑤本市にふさわしい農業政策、時代に応じた産業の下支えをする。駅周辺整備は重要だが、まずは待ったなしの課題を優先する。



市長所信及び施政方針について

公明党 さいとう 裕美

1 行財政改革の実行について

① 行政の効率を上げるためのデジタル化推進についての考えは。

② オンラインによる医療機関、介護施設間での診療デジタルカルテの共有などの推進についての考えは。

③ デジタル課設立に向けた外部の中間幹部の登用や体制整備についての考えは。

2 子育て・教育の充実について

経験豊富な高齢者の力を利用した子育て・教育サポートシステムの構築についての考えは。

3 安心・安全な環境づくりについて

豪雨・洪水に備え、雨水貯留施設の整備と河川・水路の整備についての考えは。また、通学路の安全確保、歩道の確保のための取組は。

4 頼れる福祉について

ワンストップの相談窓口等の全世代を通じた孤独・孤立の問題への対策についての考えは。

5 まちの活性化について

市民との対話集会への具体的な取組は。

6 市民に向けたメッセージについて

北名古屋市の5年後、10年後の将来の姿についての考えは。



市長

1 行財政改革の実行について

① 行政手続のオンライン化、デジタル技術を活用した住民サービスの向上、デジタル変革による効率的な行政の徹底に取り組む。

② オンライン診療可能な医療機関の情報を知周する。情報共有についてはICTを活用した北名古屋レインボーネットを運用しており、専門職支援と地域支援に努める。

③ 今年度、企画情報課にDX推進室を設立しデジタル技術の活用を推進する体制整備を実施している。今後はデジタル化の取組を進めながら、必要な人材の任用等を検討する。

2 子育て・教育の充実について

市では様々な世代同士の交流を推進するため、高齢者とのふれあいを実施する事業を展開している。今後は事業の質を高め、「子育て・教育の充実」に向け、様々な視点から研究する。

3 安心・安全な環境づくりについて

大切な命と財産を守るため、可及的速やかに対応する。通学路については、これまでのカラー化等のソフト対策と

併せ、児童の歩行空間を確保する側溝整備などの抜本的なハード対策を短期・集中的に実施する。

4 頼れる福祉について

介護、障害、育児、貧困など、本人や世帯全体のニーズを複合的に捉え、関係機関と協力・連携を図り、相談支援対応や市民への情報発信を強化する。

5 まちの活性化について

各地域において市民との対話集会を開催し、市政の現状を伝え、市政に対する考えや地域の課題を直接聞くことで、市民とともに「新しい北名古屋市」を創っていく。

6 市民に向けたメッセージについて

市民との対話を通じて、徹底した行政の透明性確保と、説明責任の充実に図りながら、誰もが市政に参加でき、誰もが市政の一翼を担える、真の市民参加型の行政への転換を目指す。

市長所信及び施政方針について

立憲民主党 上野 雅美

1 財政状況及び行財政改革について

① 財政状況の分析や、行財政改革の目標、市民が必要とする行政サービスとのバランスについての考えは、まちづくりとして公約を実施しながら財政状況を改善することへの考えは。

② 市民対話集会の形式や規模は。説明や課題、プロセス等の見える化についての考えは。

2 誰もが自分らしく生きることができる社会について

多様性を認め合い、すべての人が自分らしく生きられる社会を実現するため、人権に対する基本的な考えや取組、また、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入についての考えは。

3 住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らせるまちについて

① コロナ禍で外出の機会が減り、人との関わりが減ったことにより元気が無くなる、怪我が増える、認知症が始まるといったコロナフレイ



ルや、介護や運動等の予防に対する取組は。

② 介護者全体の情報交換や交流など、介護支援の取組に対する考えは。

③ ヤングケアラーに対する支援の現状と今後の取組は。

4 子育てしやすいまちについて

① 現在の子育て支援を拡充することや情報発信についての考えは。

② Aーを活用した保育園の入園選考の導入についての考えは。

市長

1 財政状況及び行財政改革について

① 現下の財政状況に至った要因を検証し、今後の対策の方向性や目標を含めた具体的な取組をまとめていく。全体最適の視点から行政サービスのある方も検討し、健全な財政の中で、やるべき公約は議論して実施していく。

② 対話集会の形式や規模、テーマは、状況に応じて設定する必要があるが、動画配信など、市民からの意見や質問に対し、市の対応や考えを公表できるよう、行政の透明化を図っていく。

2 誰もが自分らしく生きることができる社会について

地域における相談力向上を目指すとともに、性の多様性についての理解促進を図り、その上で広く意見を伺いながら、研究していく。

3 住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らせるまちについて

① 地域の関係者と連携しながら、介護予防情報を提供できるよう取り組む。

② 介護者の交流とリフレッシュを目

的として、介護者の集いのほか、市内2か所の包括支援センターにおいても交流会を開催している。

③ 令和3年要保護児童対策地域協議会においてヤングケアラーに該当する2世帯に対応した。今後も関係機関と連携を図り、市ホームページ等で周知する。

4 子育てしやすいまちについて

① 児童館でのオンライン行事や子育てコンシェルジュの電話相談などを実施してきたが、今後も時代のニーズに柔軟に対応し、状況に即した取組を進めていく。

② 保育ニーズの多様化が進み、複雑な判断を要する保育園の入所選考業務にAーを導入することで、迅速かつ正確な入園選考が可能となり、職員の業務削減にも繋がると考えるため、積極的に検討を進めていく。

市長所信及び施政方針について

日本共産党 渡邊 麻衣子

1 「新しい北名古屋市」の理念について

市民の願いに応える市政を築いていくには、理念・将来像を市民と職員に明確に示すことが特に大切だが、「新しい北名古屋市」の姿や理念は。

2 「新しい北名古屋市」の財政について

①財政面における新たな視点や認識は。

②国や県に対し市独自の公共サービスが維持できる十分な地方財政の充実を求める意見を示していく考えは。

3 行財政改革について

①行財政改革を「迅速かつ大胆に実行」すると、市民の暮らしにさらに急激な追い打ちをかけないか懸念する。いつまでに財政問題の要因究明をし、解決策をいつ実行するのか。

②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、暮らし支援の強化を迅速に実行すべきでは。

③「市民の命と生活を守る」まちのあ

るべき姿と、市民の願う「頼れる福祉」の増進についての考えは。

4 市民主体のまちづくりについて

①市民が思いを大切にされていると感じ、将来に希望を持てるようなまちづくりについての考えは。

②これまで取り組んできた公共施設の個別施設計画、事務事業の見直しと「新しい北名古屋市」との違いは。公共施設の統廃合はさらに進めるのか。

5 子育て・教育の充実について

①「子育てしやすいまち」の発展が市民の願いである。子育て・教育の充実についての方向性は。

②18歳までの子ども医療費無料化は今後も続けていくべきと考えるが、どう考えるか。

市長

1 「新しい北名古屋市」の理念について

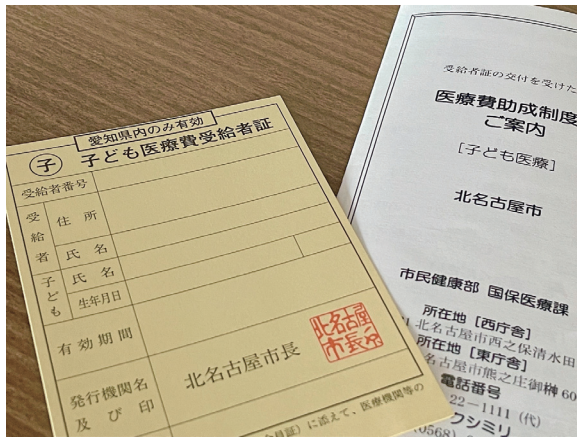
市民との対話を通じて、市民ニーズに寄り添った、安心して住み続けられるまちこそが、新しい北名古屋市の姿

であると考えている。市の財政に応じた身の丈に合った行政を行う。

2 「新しい北名古屋市」の財政について

①現在、財政中期試算に示された課題に加え、職員との個人面談を通じて、問題点を洗い出している。

②地方財政は国の財政と一体であり、各自治体の独自性が個別に反映されるものではないが、財源確保については、必要に応じ要望していく。



3 行財政改革について

①現下の財政状況に至った要因の検証と今後の対策の方向性を、市民との対話を経て、年度内には示す。

②物価高騰の影響を受ける生活者や事業者に対する支援に活用すべく、具体的な活用方法を検討中。

③安心して住み続けられる市にするための礎と考えている。

4 市民主体のまちづくりについて

①市民の声や考えを直接聞き、対話を重ねることが、「ともに進める、新しい北名古屋市」を形づくる上で重要な取組であると考えている。

②市公共施設等総合管理計画の基本的方針に沿って、具体的な取組を検討する。また、事務事業の見直しを更に加速、具体化させることが新しい北名古屋市へつながる。公共施設の統廃合については、庁舎も含め、進めるべきだと考えている。

5 子育て・教育の充実について

①保護者と地域が連携し、安心して子どもを育てられる環境づくりを充実する。また、社会の変化に対応し、豊かな人生を築き上げることができるよう、夢と生き抜く力を育む教育を進めていく。

②行財政改革とのバランスを見ながら、当面は引き続き助成を行う。

市長所信及び施政方針について

日本維新の会・福祉の会 小村 貴司

1 財政危機について

① 財政危機の認識とその根拠は。

② 歳出のどの部分が財政危機に直結しているか。

2 行財政改革における市長の覚悟について

市長の給料20パーセント削減は議案として可決されたが、結果的に市長になる前と比較し収入が増えたのか減ったのかかわらずパフォーマンスと言われかねない。今後の行財政改革における市長の覚悟は。

3 市民との対話について

市民との対話について、時期や場所、回数など、具体案は。

4 子育て・教育の充実について

虐待やいじめの早期発見及び未然防止には、教育現場で家庭と学校をつなぐ専門職の充実が必要。子育て・教育の充実をどのように進めるか。

5 市民の命と生活を守るための平時における耐震調査について

安全・安心のまちづくりには、普段からの綿密な調査が必要。道路の空洞

調査や街路灯の腐食調査など、平時における耐震調査についての考えは。



新鴨田橋の橋梁点検

市長

1 財政危機について

① 本市の財政状況は、迅速かつ大胆な改革が必要不可欠な状況。経常収支比率は98・3%で全国1741団体中95番目に高い値であることから、全国的に見てもかなり硬直化している状態。

② 歳入歳出それぞれに、個々の積み上げに加え、事業費と国や県の補助金との関係や、臨時財政対策債をはじめ公債費と地方交付税の関係など、歳入と歳出が連動するものもあり、全体として歳入と歳出に差が生じ、歳出超過の構造になっている。

2 行財政改革における市長の覚悟について

財政をいち早く回復するための意思を示すものとして、給与の削減を行った。今後市政のかじ取りを行う重責を担うとともに、公共施設の適正化を中心とした事務事業見直しの取組を継続し、スピード感をもって行財政改革に取り組んでいく。

3 市民との対話について

各自治会で半年に1度程度、市民と

の対話集会を開催し、市政の現状を伝えるときに、市政に対する市民の考えや地域の課題を直接聞く。まずは現下の財政状況に対して、市としてどう対処していくかが喫緊のテーマとなる。

4 子育て・教育の充実について

本市では、児童虐待に対応するため家庭支援課を設置しており、保育園・学校等の関係機関と積極的に連携し、未然防止、早期発見・早期対応に努めている。また、相談体制の充実、専門的な資格を有する人材の登用など、子育て家庭のセーフティネットを充実していく。

5 市民の命と生活を守るための平時における耐震調査について

災害時に設置する災害対策本部、避難所となる公共施設、緊急輸送路等を担う道路や橋梁を適正に維持管理していくことは、市として重要な役割。そのため、公共施設や道路及び橋梁については個別計画を策定し維持修繕を実施している。特に道路の空洞化については、職員によるパトロールの他、市民ボランティアからなるロードサポーターを始め市民から寄せられる情報により、迅速な対応に努めている。

一般質問

質問議員6人
質問18項目

一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

一般質問の内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から『議会録画中継』を選択してご覧ください。

総務

行政の無謬性^{むびようせい}について

桂川 将典（市政クラブ）

未来に誇れる新しい北名古屋市をつくるため、試行錯誤しながらも、データやエビデンスに基づいて挑戦し、前例主義に囚われない、これまでとはひと味違った市政運営に期待を寄せている。

しかし、政治の責任はまた別のものである。「ぶれない政治」というのは政治家として重要であり、市長は市の財政の健全化を政策として訴えて当選した以上、この財政改革をやり遂げるという住民に対する責任ある姿勢を貫徹しなければならないと考える。

財政の健全化における行政の無謬性についての考えは。

市長

市の財政の健全化に向けては、現状の市の政策について、まさに「無謬性神話」から脱却し、柔軟に政策を見直したり、別の効果的な手段へ転換するなどの発想が不可欠。そのためにも、市の政策形成体制の見直しや、組織風

土の改善が必要であり、早速、政策会議の立ち上げや全職員との個別面談を進めている。行政の無謬性に囚われず、行財政改革をやり抜くことは、私の政治家としてのぶれることのない使命と考える。機動性や柔軟性を大切に、ときには試行錯誤を繰り返しながら、未来に誇れる新しい北名古屋市に向けて邁進する。



市役所西庁舎

ふるさと納税の返礼品について

つるた りえ（公明党）

本市のふるさと納税は、市をアピールするような返礼品があまり見受けられない。素晴らしい文化と芸術薫るまちとして、もっとアピールすべき。

返礼品に名古屋芸術大学が運営する団体の演奏会を鑑賞できる招待券があるが、大学と相談して芸術的なものを体験できる返礼品を考えては。

本市のいいところを見つけてまた来たいと言ってもらったため、広い視点から、アピールができる返礼品についての考えは。

財政課長

今年度より協働のまちづくり事業の一環として、一般社団法人と共に返礼品の拡充や新規開拓、情報発信に取り組んでいる。体験型の返礼品については、遠方からの寄附を期待するよりも、利用しやすい距離にある方々に興味を持ってもらうことが、非常に重要。そのため、気軽に市を訪問できるような近隣エリアの方々をターゲット



名古屋芸術大学アーツスクエア

トにした効果的なPRとして、SNSによる情報発信を実施するとともに、今後も、寄附の動向や返礼品のトレンドを研究しながら、積極的に進めていく。

その他の質問

■ 投票所入場券到着の遅れ解消について

■ 投票所入場券の簡素化について

■ 期日前投票所の増設について

小中学校の給食費無償化を検討すべき

伊藤 大輔（立憲民主党）

給食費は、家計における学校関連の出費の中で最も大きな割合を占め、貧困家庭に大きな負担となっている。

子育て支援であると同時に子どもを貧困を解消するために給食費無償化は有効な手段であり、長引くコロナ禍で生活が困窮する家庭が増加する中、早急に検討するべき課題である。

また、無償化を実現することで、多くの子育て世代に本市を居住地として選んでもらえるのではないか。生産年齢人口や税収の増加、また、まちの活性化も期待できると考える。

このまちと子ども達の未来への投資である給食費無償化への当局の見解は。また、食材費高騰に対応するための財源として、地方創生臨時交付金を活用する予定は。

教育部次長

学校給食費無償化の実現には、4億円以上の事業費が継続的に必要となる。学校運営には、施設の維持管理や

心のケア等に対応するための人的確保のための予算確保も必要としており、給食費無償化は大変難しい。

今後も、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を安定して提供し、児童生徒の健康増進を図るため、保護者負担を継続していく。就学援助等、支援が必要な世帯に対しては、制度の周知と申請勧奨に努める。

地方創生臨時交付金の活用については、内部で検討を進める。



教育環境の向上で体育館にエアコン設置を

川淵 康宏（日本共産党）

近年、学校における熱中症事故は毎年約5000件と発表されている。

また、政府も近年の猛暑は災害級と認識しており、文部科学省は都道府県

教育委員会を通じて、各学校に熱中症事故の防止について通知等を出し、児童・生徒等の健康管理に向けた注意喚起を行っている。

本市では早期に教室のエアコンが設置されたが、体育館の熱中症対策として空調の整備も必要と考えるが、当局の見解は。

教育部次長

体育館にエアコンを設置することは熱中症対策に有効であるが、体育館に空調設備の設置を検討していく上で、十分な効果を得るためには、体育館が広大な空間であること、既存体育館の構造上の問題や建物自体の断熱性能の改修など、空調設備の整備が容易でないことが予想される。

さらに、設置費用だけではなくランニングコストをしっかりと視野に入れた計画が何よりも大切だと考える。

現状で具体的な設置予定はないが、先進事例と直近の導入自治体の動向を研究していく。

その他の質問

避難所になる学校体育館にエアコン設置を



妊産婦の医療費について

ひろた

幸治（日本維新の会・福祉の会）

現代の女性の多くは、妊娠中や出産後でも日を置かずして仕事をしている状況が一般的なので、妊産婦にかかる負担は常に大きい。

出産の準備や子育てには多額の費用がかかるため、妊産婦の健康を守る事と同時に家計を守る事も必要。そのためには妊婦、出産後の女性の医療費の自己負担分を助成して一定期間は医療費がかかることが無いようにし、いつでも必要な時に必要な医療を必

要なだけ受ける事ができるようにして経済的負担の軽減を図り、安心して生活ができるようにしていく事が必要と考えるが、市の考えは。

国保医療課長

市では、妊産婦の健診費用の助成等や保健師等の専門職が産前産後の母子保健に関する相談に応じ、必要な助言や疾病予防のための保健指導なども講じ、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援の強化を図っている。現在、妊産婦の医療費助成の実施予定はないが、今後、実施に向け、限られた財源の中、幅広い子育て世代のニーズや事業の優先順位を勘案し、安心して子どもを産み育てることができるよう慎重に取り組む。

その他の質問

小中学校における防犯体制について



新しい時代に対応できる政治行政の在り方について

阿部 武史（無会派）

財政再建についてはスピード感とリーダーシップが求められるが、行財政改革には、住民や時代の変化に合わせていくような小さな変化を積み重ねていくことが必要となるため、幹部職員の意見を元に、経緯・経験を大事

にしながらも、新しい時代に対応できる政治行政の在り方については、特に若い職員を中心として中長期的に、模索していくべきと考える。

財政再建に取り組むと同時に、組織づくりを実施することについての考えは。

市長

財政再建と同時に中長期的な組織づくりも大変重要であり、以前にもまして市民ニーズに迅速に対応できる組織体制の構築が急務となっている。若い職員の声にも耳を傾け、機動的な人員配置や外部人材の登用、新たな政策課題に対応した組織・機構の見直しなど、北名古屋市役所を強くしなやか

な組織にしていきたい。

その他の質問

■九之坪保育園近辺の交通安全対策について

■九之坪保育園通園時のサポートについて

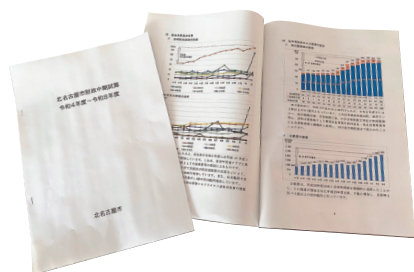
■鴨田小の登下校時の安全確保について

■西春駅西口近辺での交通安全対策について

■文化勤労会館前のリサイクルごみ置き場について

■市民の声の見える化について

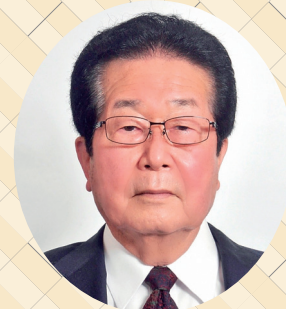
■財政再建について



北名古屋市財政中期試算

議員表彰

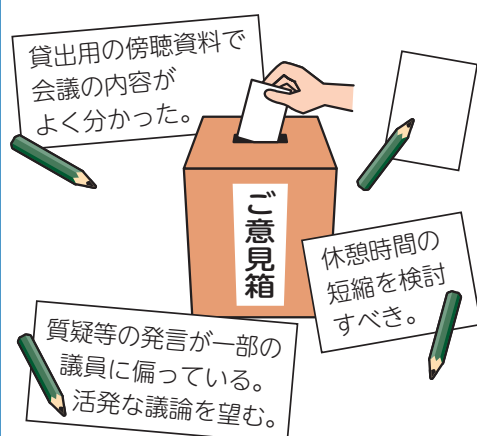
全国市議会議長会定期総会及び東海市議会議長会定期総会において、地方自治の発展に尽力された功労により、本市議会から沢田 哲議員が表彰を受けられました。



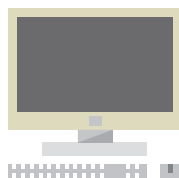
沢田 哲議員
（正副議長職4年）

市議会モニター意見箱

～第2回定例会～



インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果など様々な情報が見られます



是非、この機会に市民の皆様のアクセスをお待ちしております。

北名古屋市議会

検索

※通信料等はご利用者負担となります。

ホームページは
こちらから



本会議・委員会を傍聴してみませんか

本会議・委員会開催日(P.18定例会の予定参考)に、市役所東庁舎4階東エレベーター前で傍聴受付を行います。

本会議の受付時間は、本会議、委員会とも会議開始30分前からとなります。

傍聴の際は、検温、手指消毒、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください。

※委員会は先着10名となり、途中での入退場はできませんのでご了承ください。



第1委員会室



本会議場

議会だよりがアプリで読めるようになりました

北名古屋市議会では開かれた議会への推進を図るため、議会だより『きたしる』がスマートフォンのアプリ【マチイロ】でも閲覧できるようにしました。



利用方法

- 1 右の二次元バーコードから、またはApp StoreやGoogle playにて「マチイロ」と検索して、アプリをダウンロードしてください。
- 2 インストールした後、性別、生年月日、お住いの地域などの個人設定を行ってください。



ios版



Android版

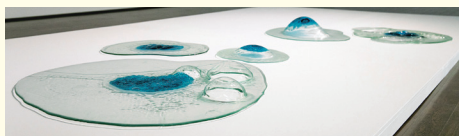
注意事項

※アプリは無料で利用できますが、通信料がかかります。(通信機器のご利用プランごとに異なります。)

※アプリ画面上に表示される広告は、株式会社ホープが募集し掲載しているもので、その内容は北名古屋市議会とは関係ありません。

表紙紹介 清水 菜月さん(名古屋芸術大学)

うた かた しる
泡沫の記し



みず まり おも
水鞠の憶い



(作者紹介画像)

蓄積されてきた記憶は心の奥に眠っていて
海の中の泡のように ぽこぽこと湧き上がり 思い出される
記憶するとき 印象的な出来事はしばらく心に留まり そうでないものは流れ 消えてゆく
記憶の「はかなさ」「あいまいさ」を、ガラスという素材を通して制作しました。

令和4年第3回定例会の予定

8月26日(金)	本会議(初日)	【請願書・陳情書の提出について】 第3回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、8月17日(水)の午後5時(予定)です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。 最新の情報は市議会ホームページまたは議会事務局までご確認ください。
9月 6日(火)	本会議(一般質問)	
9月 7日(水)	本会議(一般質問)	
9月 8日(木)	予算決算常任委員会	
9月 9日(金)	予算決算常任委員会	
9月12日(月)	予算決算常任委員会	
9月13日(火)	福祉教育常任委員会	
9月14日(水)	建設常任委員会	
9月15日(木)	総務常任委員会	
9月20日(火)	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会	
9月26日(月)	本会議(最終日)	

《皆様の声をお聞かせください》

議会だよりをより充実させるため、皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。

議会事務局

- メール giji@city.kitanagoya.lg.jp
- FAX (0568) 23-3140



編集後記

今号は、議員改選後初の市議会だよりということで、広報委員が積極的に意見を出し合い、まとめ上げたものとなりました。

特集として、建設常任委員会で行った鴨田川排水機場の視察を取り上げさせていただきました。2000年に発生した東海豪雨から20年。当時の記憶も薄れかかっているのではないのでしょうか。近年は局所的豪雨も頻発しております。鴨田川排水機場の自動起動化は愛知県でも先駆的なものであり、住民の皆様の安全・安心につながるものだと考えております。

災害は忘れかけた頃に起こります。今一度、日ごろの備えを確かめたいと考えております。

今後とも私たち広報委員一同、わかりやすく充実した紙面づくりを心掛けてまいりますので、よろしくお願いします。

